

私たちを はぐくみ 育ててくれる 母なる大地 夜久野町

夜久野自治会だより

第43号

平成29年
8月号



(写真は、牧川向森橋より上流を望む)

おもな内容

会長あいさつ	2
定期総会	3
平成28年度決算報告	4
平成29年度予算	4
「自治基本条例」説明会	5
まちかどフォト	6
輝く夜久野の子どもたち	7
きらり夜久野なでしこ	8
まごころ銀行(ふるさと基金)	8

夜久野の夏の風物詩とも呼べるこの作業は、「川刈り」や「河川掃除」とも呼ばれています。

背丈を超えるまでに伸びた草を、自治会総出で刈り倒します。

作業後には、見違えるように美しくなります。

みなさん、暑い中、ご苦労様でした。

【就任にあたって】

近年夜久野町における人口構造の変化が進む中、地方交付税、市税などの一般財源がさらに減少していくことが見込まれる一方で、扶助費などの社会保障関係経費は増加、多様化する市民ニーズなど、今後、財政運営を取り巻く環境は、ますます厳しさを増しております。

このような夜久野町変革の時期に、総会にて再任を希望し、昨年度やりきれなかった課題と反省を踏まえ、再び夜久野町が活気を取り戻すための取組みを進めていく活動方針に賛同、ご承認を頂きました。

【自らが地盤を

見つめ直す時代に」

平成三十年度、いよいよ福知山市自治基本条例が施行され、私たちの暮らしが大きく変わろうとしています。

自治基本条例の意義は自治体の自立に向けて、大事にすべき文化、理念が何なのかを再確認し、そのための行動原則を明らかにし、まちづくりの主体である市民、市議会、行政の責務を明確にするものです。少ない財源で賄える町づく

りには、やはり限界があり、住民の声が市政に反映されるまでには、あまりにも時間がかかりすぎてしまいます。

私たちに今できることは、自らの地盤を見つめ直し資源や、文化、四季折々の自然を再確認し、周りの環境を活用した財源作りを、改革していかなければならないということだと考えます。

【担い手の役割と責任】

先人から受け継がれた多くの資源を、いかに活かし守るか、それぞれの担い手の役割と責任、協働を推進していくための手法や仕組みを学ぶことが、今のまちづくりの基本です。そのための、地域づくり・人づくりは何よりも優先されるものであり、自助・共助・公助の重要ななめとなるものです。

伝統的に培われてきた地域での支え合いや助け合いの関係が希薄化し、自治会などの身近な地縁型コミュニティの維持・運営と担い手の確保が課題となっています。

1年間よろしくおねがいします <各集落自治会長> 平成29年度自治会役員

中島 英俊(門垣)	藤原 良一(小倉副倉)	桐村 有作(天迫)	的場 修(高内)	堀島 好文(末)	中西 直樹(日置)	荻野 典道(下原)	佐野 良弘(中原)	足立 善彦(上原)	玉木 正弘(向)	大本 文雄(奥副倉)	水谷 憲生(且)	谷口 辰夫(雷吉)	大江 友忠(下町)	森 敏美(井田)	岡本 嘉明(吉中)	赤井 勇雄(小畑)	片山 正之(桑村)	越後 勲(西谷)	湯口 修(金尾)	岩井 光雄(稲垣)	水本 克則(柿本)	新宮 敏昭(今里)
塩見 正紀(夜野)	藤原 英俊(奥水坂)	水谷 博(駅前)	倉垣 勝(水坂)	藤原 馨(水上)	衣川 知(平野)	松山 房子(田谷)	安橋 日出男(今西)	尾上 好広(現世)	衣川 勇(恵垣)	塩見 忠好(羽白)	塩見 幹男(三谷)	衣川 義広(桒吉)	武田 幸彦(中田)	田村 幹男(才谷)	谷口 清成(栗尾)	衣川 一尚(宮垣)	大西 敏文(西垣)	中島 賢一(桑谷)	飯尾 義夫(大迫)	山田 好昭(金谷)	田村 孝利(山中)	足立 省三(副谷)

幹印は、「連合自治会」幹事 監印は監事

JAは夜久野自治会を応援しています。住みよい町づくりは住民の結集から。

豊かな暮らしの応援団 **JA京都にのくに** 夜久野支店

電話 (0773) 37-1121

夜久野町連合自治会 平成二十九年度 定例総会

平成二十九年五月十一日 夜久野ふれあいプラザにおいて開催。左記の活動方針と予算が承認されました。
人口・世帯数が年々減少し、急速過疎化が進行している現状に対して、中長期計画を掲げ、連合自治会が取り組むべき重要課題を各自治会から抽出して、次のような方向性のもと、活動をすすめます。

- ①現状について密度の高い調査
- ②今後予測される危機管理の見直し
- ③自治会の連携と特色ある地域づくりへの移行
- ④子ども・高齢者の安全確保
- ⑤公民館活動や「夜久野ふれあいまちづくり協議会」などの自主活動を、ともに進める

《具体的活動》

- ①自治会組織の強化・支援
 - 自治会長会及び役員会の充実。自治会長間の横の連携を密にし、生活向上のための課題・懸案事項の検討を行い、行政への働きかけなど問題解決のため努力する。
 - 自治会共通重要事項のとりまとめ。早期実現に向け京都府・福知山市との協議を密に行う。上・中・下3ブロックで連合への要望をまとめ提出する。(支所公民館事務局まで同一2部の提出を依頼します。)
 - 住みよいまちづくりの推進。
 - 「夜久野ふれあいまちづくり協議会」との連携を軸に、現状の問題提起を早期に解決していく。
 - 地域住民(子ども・高齢者)安心・安全の声かけ運動・パトロールの実施。
 - 夏季期間中の「明正プール」管理の財政支援。
 - 「家庭」ミニ収力センター」作成・配布、「夜久野自治会だより」発行。
 - まちづくり紹介コーナーの充実。
 - 吊り下げ懸垂幕の活用(福知山市商工会所有の額田広告等への掲示)
- ②公民館支援と協働
 - 地区公民館の充実(上・中・下地区公民館の運営体制の確立・強化。地区運動会や各種事業の充実を図る。)
 - 地域公民館との連携・支援(まちづくり活動、文化活動への連携・支援)
 - (健康環境委員会研修会・人権推進委員会研修・サロンボランティア支援・まちづくり学習・ふれあいいいききフェスタ(公民館まつり)など。
- ③夜久野地域自主防災組織結成への支援及び防災Bookの作成

・大災害への備え・連絡網の充実・各集落の自主防災組織立上げ支援の強化。

・自主防災組織立上げ・問題点の洗い出し。

・問題解決に向けた支援を行う。

・緊急時の自治会・連合・行政への連絡体制の確立。

◇第1ステップ「実態調査期間」

H28.5～H29.3終

◇第2ステップ「エリア分類・ランク分け」

H29.4～H30.3

・防災Book編集委員会の設立を行う。

・シート回収後の、地区分類・危険度の検証と、ランク表示を行う。

・シートの最終確認及び、再調査の実施。

◇第3ステップ「構成と予算化」

・構成後、夜久野町版「次世代防災Book」を作成し、災害時のマニュアルとして、住民・自治会・消防・行政が同時に初期誘導をスムーズに行える事を目的に、本書を作成して各戸配布していく。

・本書作成に必要な予算の捻出を行う。約100万円(京都府補助金申請66万円)

※但し、上記機関については、監修・編集委員長・委員会を置く。委員長は現自治会長がそれにあたります。

(解任・解散：本書発行の目的を達成した時とする。)

④河川掃除(草刈り)事務支援

1、府河川対象地域(40自治会)

府河川対象外地域(今里・金谷・水坂・駅前)

2、【見直し案】各自治会の面積計算及び図面を専門部会(平成28年度設立)で作成し、連合自治会河川掃除台帳を年度内に作成し、次年度からは、台帳による基盤データから費用の算出や施工箇所の把握を行えるようにし、事務手続きの軽減を図る。

⑤森林事業へ支援

・森林事業が伸び悩む中、森林委員会を中心とした山に対する学習会・講演等を行い、夜久野町の「山」に対する現状を学び、大雨から受ける影響の把握・開発の要因などを協議する。

・間伐事業施工後の山林の視察を行い、実態把握を行う。

・地区により財産区などは管理等の内容が異なるため、地区ごとの特長に合わせた活動を支援する。

・課題を地区ごとにまとめ、福知山市、財産区などと協議を行い課題の速やかな解決に努める。

(例) 森林の著しい成長による、日照権・電波障害など)

平成29年度・夜久野町連合自治会 予算計画書

《一般会計》

平成29年4月1日～平成30年3月31日

《収入の部》

単位：円

科目	28年度予算額	28年度決算額	29年度予算額	摘要
繰越金	109,808	109,808	101,588	前年度より繰越金
会費	641,000	631,000	630,000	500円×1,260戸
協賛金	200,000	200,000	200,000	26企業・団体
雑収入	50	46,003	3	預金利息
合計	950,858	986,811	931,591	

《支出の部》

単位：円

科目	28年度予算額	28年度決算額	29年度予算額	摘要
会議費	15,000	7,200	7,200	お茶などの飲み物 他
通信交通費	40,000	20,815	25,000	切手・はがき・郵送料
事務費	20,000	15,598	20,000	事務用品・インク代
事業費	800,000	841,610	840,000	自治会だより・ゴミカレンダー プール運営助成金・事務局運営費
予備費	75,858	0	39,391	
合計	950,858	885,223	931,591	

～H29年度 予算書の続き～

《特別会計》

〈収入の部〉

単位：円

科 目	28年度予算額	28年度決算額	29年度予算額	摘 要
繰越金	21,485	21,485	707,413	前年度より繰越金
河川掃除受託	11,011,140	11,713,680	11,713,680	府中丹西土木事務所から
雑収入	90	12	12	預金利息
合 計	11,032,715	11,735,177	12,421,105	

〈支出の部〉

単位：円

科 目	28年度予算額	28年度決算額	29年度予算額	摘 要
租税公課	20,000	20,000	20,000	収入印紙
配分金	10,980,780	10,999,940	11,713,680	自治会配分額
事務費	5,000	7,824	650,000	分配金配分調査費用など
予備費	26,935	0	37,425	
合 計	11,032,715	11,027,764	12,421,105	

平成28年度・夜久野町連合自治会 決算報告書

《一般会計》

平成28年4月1日～平成29年3月31日

〈収入の部〉

単位：円

科 目	28年度予算額	28年度決算額	増 減	摘 要
繰越金	109,808	109,808	0	前年度より繰越金
会費	641,000	631,000	△10,000	500円×1,262戸
協賛金	200,000	200,000	0	26企業・団体
雑収入	50	46,003	45,953	預金利息 (1・2) 市(移住企業立地推進課) 46,000
合 計	950,858	986,811	35,953	

〈支出の部〉

単位：円

科 目	28年度予算額	28年度決算額	増 減	摘 要
会議費	15,000	7,200	7,800	施設使用料 他
通信交通費	40,000	20,815	19,185	切手・はがき・郵送料・封筒・振込手数料
事務費	20,000	15,598	4,402	ゴム印等事務用品、インク代
事業費	800,000	841,610	△41,610	自治会だより(338,040)・ゴミカレンダー(43,200) プール運営助成(100,000)・印刷費(370) 事務局委託費(360,000)
予備費	75,858	0	75,858	
合 計	950,858	885,223	65,635	

(収入) 986,811円 - (支出) 885,223円 = 101,588円【次年度へ繰越し】

《特別会計》

平成28年4月1日～平成29年3月31日

〈収入の部〉

単位：円

科 目	28年度予算額	28年度決算額	増 減	摘 要
繰越金	21,485	21,485	0	前年度より繰越金
河川掃除受託	11,011,140	11,713,680	702,540	府中丹西土木事務所から
雑収入	90	12	△78	預金利息
合 計	11,032,715	11,735,177	702,462	

〈支出の部〉

単位：円

科 目	28年度予算額	28年度決算額	増 減	摘 要
租税公課	20,000	20,000	0	収入印紙
配分金	10,980,780	10,999,940	△19,160	44自治会配分額
事務費	5,000	7,824	△2,824	
予備費	26,935	0	26,935	
合 計	11,032,715	11,027,764	4,951	

(収入) 11,735,177円 - (支出) 11,027,764円 = 707,413円【次年度へ繰越し】

以上のとおり決算報告をいたします。

平成29年3月31日

夜久野町連合自治会 会計 中畠 政幸
会計監査 湯口 修・居合 和徳

市民が主役のまちづくり

自治基本条例 について 理解を深めましょう

今年3月に「福知山市自治基本条例」が制定されました。この条例は、来年(平成30年)4月1日から効力を持つことになります。

「まちづくりの最高規範」「福知山市の憲法」と言われるこの条例について、理解を図るため、市主催の住民説明会が各地で開催されています。

6月30日に夜久野ふれあいプラザで開催された内容について、報告します。

関心高い夜久野住民

八十名という参加者数は、全説明会の中でもハピネス福知山に次ぐ多さでした。関心の高さと、まちづくりへの意欲が反映されたと言えます。

連合自治会を基盤として生まれた、「夜久野みらいまちづくり協議会」が、この条例により、市政にきちんと位置付けられたことがわかりました。

自治基本条例とは

《条例制定の背景》

自治基本条例は、地方分権時代にふさわしい自律した自治体を構築するために、まちづくりを支える市民、市議会及び市の役割と責務、まちづくりへの市民の参画と協働の仕組み、市政運営のあり方等のまちづくりに関する基本的なルールを定めたもので、福知山市におけるまちづくりの最高規範と位置付けられます。

また、市民・地域・ボランティア・NPO・事業者・行政などの多様な主体が互いに対等な立場でパートナーシップを確立し、

それぞれの特性を活かし合うとともに役割と責任を明確化することにより、「自助・共助・公助」が機能する持続可能な協働型社会を構築することが求められています。

合わせて集落機能や地域福祉の維持、安全対策など、地域間の協力体制や住民相互の対話と役割分担のあり方について、現状に即して再構築し、郷土への愛着と誇りのもとに、地域の特性や実情に応じた地域運営ができる新たな市民主体の仕組みづくりが求められています。

そこで、まちづくりを支える市民、市議会及び市の役割と責務、まちづくりへの市民の参画と協働の仕組み、市政運営のあり方等のまちづくりに関する基本的なルールを定めた自治基本条例を制定し、まちづくりの主役である市民が主体となった市民自治のまちづくりを確立して、自律した自治体運営をめざすものです。

◆市民憲章との違い

市民憲章は市民の行動規範を中心に定められ、共感に基づいた自発的行動意欲の喚起が期待されるのに対して、自治基本条例は市民等の権利や責務、行政の組織・運営等について市議会

の議決によって決定される法規であり、条例には法的実効性があります。

◆自治基本条例と福知山市の総合的な市政運営の計画との違い

福知山市の総合的な市政運営の計画は、一定期間中に達成すべき目標を設定し、その実現のための手法を体系化、総合化したもので、自治基本条例は、そうした行政計画の策定手法や位置付けも規定するので、行政計画の上位規範です。

来年4月の施行に向けて、市主催説明会は今後も開催されるそうです。

この条例の価値を十分に理解し、ともに住みよい地域を作りましょう。



6月30日に開催された夜久野会場での説明会は、参加者80名。ハピネス福知山に次ぐ多さで、熱く学びあいました。



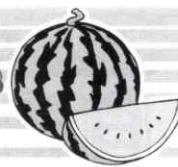
地域社会の環境
と自然を守る！



株式会社クリア

京都府福知山市夜久野町額田373番地
TEL (0773) 37-0304

まちかどフォト



額田5区合同で子ども会行事

世界にひとつの
「マイ・カップヌードル」作りに熱中!

5月28日、額田上町、下町、向、旦、奥の5つの自治会が、合同で子ども会行事を開催しました。

少子化の中、「単独の自治会では体験できない、にぎやかな親子行事を!」と、大型バス2台で、大阪へ!参加者は67名。水族館やカップヌードル記念館の見学、ホテルバイキングなど、一日たっぷり地域ぐるみの交流ができました。



よみがえ

蘇る茶畑!

西垣茶摘みイベント

西垣自治会では、以前盛んだった西垣茶を再生する取り組みを、5年前から実施。

荒れていた茶園を見事によみがえらせました。

5月21日には、その茶園で「第5回西垣茶イベント」が、にぎやかに開催されました。

茶葉を摘み、昔ながらの手もみで仕上げ、味わいました。地元の山菜の天ぷらなどで会食し、約50人がおおいに交流しました。



世代も国境も超えて!

たんぼアート 田植え



6月4日、直見大嶋で居母山クラブ主催「たんぼアート」の田植えが行われました。

今年の絵柄は、「山の日」イメージキャラクター



「ヤッホーヤマン」。

地域内外から80名(うち外国の人も十数名!)の参加があり、昔ながらの方法で一列に並び、一株ずつ植え付けました。



総合建設業

株式会社 衣川組

〒629-1312 京都府福知山市夜久野町末718-1

地域とともに歩みます

お気軽にご相談下さい

☎ 0773-37-1155

輝く夜久野の子どもたち

夜久野学園

たつぷりどつぷりツアーの取組から
 豊かなふるさと歴史や自然から
 学ぶ子どもたち

夜久野学園では、4月12日に新1年生13名と新7年生15名の入学式を行い、全校151名で平成29年度がスタートしました。多くの来賓の皆様に祝福していただいた新1年生も7年生も毎日元気に学園生活を送っております。

今年度、学園は創立5年目を迎えました。学園では開校初年度より、1年生から9年生までが一緒に地域の歴史や自然に触れ合う「たつぷりどつぷりツアー」を1学期最初の学校行事として実施しています。今年もさわやかな初夏を思わせるような絶好の天候に恵まれ4月28日に実施することができました。

学園の校区には、上・中・下夜久野の素晴らしい歴史と自然が広がっています。当日は、1年から8年までが2学年ずつグループになり、精華・育英・明正方面に分かれて散策

しました。9年生は、4つのグループのオブザーバーとして各グループをリードしようと頑張る5・8年生をサポートしていました。

それぞれの場所では、地域の皆さまや保育園の園児たちと交流したり、学校清掃を兼ねて触れ合ったりしました。取組を通して、子どもたちはそれぞれの地域の自然や歴史について学び、改めてふるさととの良さを味わい、ふるさとを思う気持ちを高めていました。

学園の教職員も、さまざまな支援をしてくださる地域の方々の温かい気持ちに添えるべく、この豊かなふるさとに誇りをもって学び続ける子どもたちの育成を目指して、今後も「先手挨拶」を初め、様々な機会の夜久野学園の心意気を示せるように心を一つにがんばります。応援をよろしくお願ひいたします。

上夜久野保育園

【学びに向かう力】を支えるために
 保護者と地域と園が手を取り合う事の大切さ

家庭の中で大切に温かく育てられた子どもが、初めて経験する社会生活が保育園です。一人では、歩くことも食べることも出来ない年齢の子ども達から、就学を迎える子ども達に寄り添い、食べたり遊んだりを繰り返しながら、「生きていく力」や「考える力」を習得することを目標に保育をさせていただいています。



親子で盛り上がった「夕涼み会」

夜久野では、子ども達と地域の方々との交流が増えています。春のじゃが芋植えから始まり、福祉施設や老人会様との交流、夏のアト田んぼへの案内、秋の枝豆ほりやふれあいいきいきフェスタへの参加

田んぼ遊び、冬の大根ほりや鮭の放流等々ここに紹介しているのはほんの一部です。色々な場面で関わりを持つて頂くことで、園内だけでは出来ない経験をすることが出来ます。入園から一ヶ月、半年から一年、

二年から三年、四年から五年、六年と四季折々の体験をしながら育った子ども達です。題名を見ていますと、大変むずかしそうに感じますがそんな事はありません。いままでのように、多くの皆様からたくさんのお力添えをいただくことで、保護者も子どもも、夜久野での生活を満喫しながら、力をいっばい蓄えていきます。

やさしい心・嬉しい気持ち・悲しい思い・何でも挑戦する頑張り・諦めない強さ・卒園の時の自信にあふれた顔の子ども達を毎年送り出しながら【学びに向かう力】がしっかりと身についていると感じています。夜久野が大好きな子どもにも育つてくれますよう、私たちも頑張りますので、地域の皆様には、今までと同様に子ども達への惜しみない応援をよろしくお願い致します。



大根の収穫に大喜び！

きらり 夜久野なでしこ

【第4回】 Y.LADYS (ワイ レディース)

夜久野の
女性グループの活動を
紹介するコーナーです。



スポーツ活動がたいへん盛んだった平成初旬、夜久野にはママさんバレーチームが10以上もありました。そのころチームは全て地区ごとだったのですが、地区の枠組みを超えた「オール夜久野」のチームを作りたい、と誕生したのが、Y.LADYSでした。平成5年のことでした。



青年団時代に全国大会を経験した選手のいる Y.LADYS は大変強く、福知山市の大会での優勝も果たしました。勝負への粘り強さには定評があり、優勝までの4試合を全てフルセットで勝ち残ったこともありました。



子育てや仕事で多忙を極めた時期でも週1回の練習日を大切にし、夕食を素早く調理できるカレーにして、練習時間に間に合うように駆け込むことも!

近年は練習に参加できる会員も減ってきて、公式戦出場も難しいですが「強いバレー」から「楽しいおしゃべり(?)バレー」になりつつも、Y.LADYS を存続させてきました。

今春からは残念ながら休会となっていますが、再び夜久野にバレー旋風が吹くことを願っています。



夜久野町の人口は 平成29年7月末日現在

★人口 3,493人 (-123人)
(男) 1,663人 (-61人)
(女) 1,830人 (-62人)
★世帯数 1,543戸 (-32)
()内は昨年同期

(市人口統計表による)

編集委員

編集委員長 桐村 有作
編集委員 水谷 良一
大玉 本 夏 代
大藤 本 正 弘
藤原 谷 文 雄
水谷 良 一 博

一年間よろしく
お願いします。

★平成二十九年五月
亡夫供養 芦田 吉子様(向)
亡母供養 衣川 重人様(平野)
★平成二十九年六月
亡母供養 寺岡 美穂様(向)
亡義母供養 林田 治久様(鴨野町)

ふるさと基金

まちづくり銀行

篤志ありがとうございます。

編集後記

たいへん暑い日が続いてありますが、皆様はいかにお過ごしでしょうか。

かつては、暴飲暴食を避けて規則正しい生活を送るうちに猛暑が通り過ぎ、さわやかな「実りの秋」が訪れたものでした。しかし、近年は、熱中症への注意も必要になってきました。昼間の高温に加え、夜も気温が高いため、汗の量も多いことから脱水症状を起こす危険があるそうです。水分補給には十分心がけてください。

さらに、豪雨の怖さもたびたび見聞きするようになりました。五十年に一度あるかなにかという災害が各地で起きています。

夜久野でも雨の降り方によつては、土砂崩れや河川氾濫などの恐れは十分に考えられます。天気予報や警報などの情報には今まで以上に耳を傾けたいものです。家族や地域でいざというときの対応を話し合っておくことの大切さも改めて感じています。